

平成28年度 学校経営方針

中野区立南中野中学校
校長 江原 賢一

～東京一 爽やかで元気のある挨拶ができる学校を目指して～

教 育 目 標

- 一、自ら学び考え実践できる人になろう (賢く)
- 一、思いやりのある心豊かな人になろう (優しく)
- 一、心身ともにたくましい人になろう (逞しく)

【学校経営にあたり】

今年度も「徳・知・体」のバランスがとれた心ある子供たちの育成を基本とし、「生きる力」をいっそう育むことを目指し、教育に取り組みます。子供たちを取り巻く生活環境は年々急激な変化を遂げています。私たち大人でさえ、そのスピードについて行けず、自分自身を見失うことがありがちです。思春期の子供たちなら一層のことそれらへの対応にて強いストレスや不安を感じていることも事実であると考えます。その様な子ども達の不安感を少しでも和らげ、生きていくことに自信をもたせるために、本校では今年も心の教育に充実に努めていきたいと思えます。その中心が「徳育」だと思えます。子供たちを守り、育て、人としての生き方を学ばせ、それを実行させるためには、「徳育」が欠かせないものと考えます。生きる基本となる徳育を通して、逞しく生き抜く心の育成を本校は本年度も行っていきます。

また今年度新たな試みとして、学校では生徒たちに地域への回帰を指導いたします。人の生活は安心して生活ができる地域があってこそ安定をします。それには地域を好きになり、地域への自己有用感が必要となります。自分が地域にとって欠かせない、必要とされる人間であるという自覚をもてるよう学校では指導をしていきます。ご家庭にても是非ご協力していただければと思えます。具体的には、まずは地域の活動に進んで参加をしていくことであると考えます。自分の住んでいる地域を再認識させ、安全・安心の街作りに協力させる意味も含めてお話をしていただければ幸いです。

常日頃より、教育とは読んで字のごとく「教え、育てること」と考えています。南中野中教職員の最大の特徴はそれらができる集団であるということです。一年間教職員の力を結集し、個々の力を最大限発揮し、生徒たちの「自主・自律・そして自立」をしっかりと支えていきたいと思えます。

「逞しく生きる心の育成」を目指し4年目を迎えた今年度の本校の教育基本方針は、

1. 「生き方に本気で、賢く、逞しく生活に取り組むことができる生徒」の育成
2. 「感謝の気持ちを大切にさせ、謙虚な姿で生活できる生徒」の育成
3. 「感動を伴う、感性を磨く教育」の推進
4. 「地域を大切にする生徒」の育成

です。

今年も一年、教職員は学校生活において、学校経営方針のもと、各学級、学年の子供たちの「自主、自律、そして自立」を引き出す具体策を考え、実行していきます。ご支援を宜しくお願いをいたします。

目指す学校像、生徒像、教師像、教育目標達成のための重点は下記の通りです。

1. 【目指す学校像】

～ 生徒の「自主・自律 そして自立」を生み出す学校 ～

- (1) 生きる目標を明確にもち、真面目に、真剣に、前向きに一生懸命努力をする生徒が育つ学校
- (2) 生徒ひとり一人が、様々な学校生活の場面で感動を味わうことができる学校
- (3) 生徒の可能性を伸ばすために、教職員の個性が一つになり、組織として機能する学校
- (4) 南中野の生活環境を大切にし、地域と共に歩む学校

2. 【目指す生徒像】

～ 現実と向き合い 逞しく生きる生徒 ～

- (1) 礼儀正しく、優しさと思いやりをもち、励まし、互いに鍛えあう心をもつ生徒
- (2) 何事にも積極的に学ぶ姿勢を持ち、生きるための知識や知恵を身に付けた生徒
- (3) 逞しく、積極的に生きようとする強い姿勢と、情緒豊かな感性をもつ生徒
- (4) 自分が育てられた町を大切にし、地域に貢献しようとする意識をもつ生徒

3. 【目指す教師像】

～ 生徒と真剣に向き合うことのできる先生 ～

- (1) 教育者としての使命感をもち、生徒たちに熱く語り、冷静な行動・判断をし、逞しい心をもつ生徒の育成に努力を惜しまない教師
- (2) 常に生徒に寄り添い、多くの感動を与える場面を作ることができる教師
- (3) 生まれ育った地域を大切にさせ、生徒が恩返しできる指導を行える教師

4. 【教育目標達成のための重点】

- (1) 学習指導（各教科）
 - 分かる授業の工夫と自ら学ぶ力の育成
 - 継続をした家庭学習指導
- (2) 生活指導
 - 規範意識の向上と挨拶、言葉づかいの徹底
- (3) 道徳指導
 - 人としての在り方、生き方を自ら思考し、判断し、それらを表現できる力を育成すると同時に、情緒豊かな感性を育てる
- (4) 進路指導・特別活動・部活動
 - 協調を意識した社会性を伴う行動力の育成
 - 社会における自己有用感の育成
- (5) 健康教育
 - 逞しい心身の育成を図る
- (6) 小中連携教育の推進
 - 安心して通える、信頼ある学校を目指すため、地域3小学校との連携強化を図る
 - 乗り入れ部活の充実